

第 71 回京都府新型コロナウイルス感染症対策本部会議 議事概要

- 1 日 時 令和 4 年 8 月 4 日（木）午後 4 時 30 分から午後 4 時 45 分まで
- 2 場 所 京都府職員福利厚生センター会議室
- 3 出席者 知事、古川副知事、企画理事、危機管理監兼危機管理部長、知事室長、職員長、総務部長、文化スポーツ部長、健康福祉部長、商工労働観光部長、京都府議会事務局長、教育長、警察本部長、山城広域振興局長、南丹広域振興局長、中丹広域振興局地域連携・振興部長、丹後広域振興局長、京都府新型コロナウイルス感染症対策専門家会議議長及び京都市危機管理監

4 議事録

【危機管理監】

京都府新型コロナウイルス感染症対策本部会議を開催します。

本日は現在の感染状況を踏まえ、今後の対応について、協議いただくこととしています。

それでは、西脇知事に会議の進行をお願いします。

【知事】

まずはこの間、昼夜を分かたず、医療現場で御奮闘いただいている医療従事者の皆様、高齢者施設や学校、保健所等の第一線で御奮闘いただいている皆様に、心から感謝を申し上げます。

本日の府内の新規陽性者数が 5245 人、7 日間平均は 5117.3 人で、前週増加比が 1.15 倍と、引き続き感染の拡大傾向が続いています。

医療提供体制は、3 日現在の確保病床使用率が 49.7%、高度重症病床使用率が 25.5%と、病床の使用率も上昇をしています。

オミクロン株 BA.5 への置き換わりが進み、第 6 波のピークに比べ、1 日あたりの陽性者数が 2 倍を超えています。また、自宅療養者も 5 万人を超えている状況です。

本日はこうした状況も踏まえ、「京都 BA.5 対策強化宣言」について、議論したいと考えています。

まずは最近の感染状況等について、健康福祉部長から報告をお願いします。

【健康福祉部長】

※資料 1 に基づき説明

【知事】

続きまして、宣言案について、危機管理監から事務局案の説明をお願いします。

【危機管理監】

※資料 2 及び 3 に基づき説明

【知事】

ここまでの説明について、専門家会議の松井議長から御助言をよろしく申し上げます。

【専門家会議議長】

現状、医療は逼迫している状態であると考えています。

第7波はこれまでと少し違い、医療従事者やその家族が感染して、あるいは濃厚接触者になることによって仕事ができない状態になっています。それにより、病床が十分に活用できないことが懸念されます。

その結果、コロナ診療だけでなく、救急の受け入れや一般の手術、治療に支障をきたしている状態です。

これから夏休みやお盆等で様々なイベントがあり、人出が多くなるシーズンですが、一人ひとりに感染しないための取り組みをお願いしたいと思います。

またワクチン接種についてですが、重症化することを防ぐという効果がはっきりあります。現在65歳以上の9割近くの方には3回目のワクチン接種をしていただいておりますが、若い世代の3回目接種がそれほど進んでいないということで、ご自身が感染し、重症化することを防ぎ、また後遺症を減らすためにも、そして周囲の人に感染をひろげないというためにも、若い世代の皆さんには、3回目のワクチン接種をぜひ積極的に御検討いただきたいと思います。

現在のように感染が拡大しているときには、人混みを避ける、正しくマスクを着用する、適切な換気を行う。これらをしっかり守っていただきたいと思います。

医療提供体制のますますの充実を図っていただいておりますが、府民の皆様お一人おひとりの行動が、京都の医療を守ることに繋がるということを御理解いただきたいと思います。

よろしく申し上げます。

【知事】

医療提供体制、コロナ受け入れ病院の逼迫はこれまでの経験にもありますが、加えて働き手がないということ、さらに、やはり発熱外来での逼迫ということで、これまでに経験したことのない状況にあります。

引き続き、医師会とも連携しながら対応していきたいと思います。

何よりも、できる限り感染を抑えていくことが重要だと考えています。よろしく申し上げます。

続きまして、京都市の三科危機管理監から御意見を申し上げます。

【京都市危機管理監】

基礎自治体、現場サイドのお話をさせていただきたいと思います。

まず保健所については、最大の応援態勢をとっており、785人の体制で取り組んでいますが、非常に厳しい状況にあります。より重症化リスクの高い方への対応に重点を置き、取り組んでまいりたいと思っています。

救急搬送の話がありましたが、コロナ患者の増加、そして熱中症の多い時期であり、救急搬送件数は過去最高レベルになっています。7月の最終1週間で約2500件ということで、平常時は32隊設

置している救急隊を 37 隊まで増強しています。ただ、出勤率が約 7 割と大変厳しい状況ですので、#7119 の活用も含め、救急は真に必要な場合での利用のお願いを呼びかけてまいりたいと思います。

また暮らしと直結する仕事を多数しております、ごみ収集や市バス・地下鉄運行、区役所窓口、こうしたところは、第 6 波の経験、BCP 計画で何とかしのいで、生活に直結する部分には影響をださずにできていますが、やはり長期化すると機能維持への懸念も出てまいります。

さらに大雨災害対策の態勢も非常に必要な時期ということで、多数心配があります。

本日の宣言を改めて周知し、感染の早期収束、そして医療、病床への負担を下げられるように取り組んでまいりたいと思います。

よろしくお願いします。

【知事】

やはり京都市も、現場、非常に大変だと思います。

引き続き、御協力よろしくお願ひしたいと思ひますし、救急体制については、呼びかけにもありましたが、真に必要な方が救急を受けられないというのがやはり一番困りますので、そういった意味でも、今後も府民の皆様への御協力をお願いし、呼びかけていきたいと思っています。よろしくお願ひします。

その他意見等なければ、この「京都 BA.5 対策強化宣言」を行うこととします。

その他各部局から御報告事項等なければ、本日の会議の総括を申し上げます。

まず、感染防止に関する府民や事業者の皆様の御協力、また病床確保を始めとする医療提供体制の拡充、ワクチン接種の推進等、改めて、すべての関係の皆様方の御協力に対して、心から感謝を申し上げます。

新規陽性者数の急激な増大により、コロナ受け入れ病院や発熱外来等の診療検査機関の負荷が増大しており、さらに救急搬送困難事案の増加、保健所の業務の逼迫ということで、様々な課題が生じています。

只今、「京都 BA.5 対策強化宣言」を決定しましたが、この宣言による取り組みを着実に府民や事業者の皆様方に周知し、改めて感染対策の取り組みを進めていく必要があると思っています。

この後の記者会見にて私から呼びかけますが、関係部局には、次の 3 点を万全の態勢で対応いただきたいと思っています。

まずは本日決定した「京都 BA.5 対策強化宣言」を府民や事業者の皆様、市町村、関係団体、関係の方たちに幅広く、かつ丁寧に広報、御説明をし、皆様の御理解、御協力を得られるように努めていただきたいと思っています。

次に、松井議長からありました、ワクチン接種について、希望する府民の皆様が速やかに接種いただけるよう、市町村とよく連携し取り組んでいただきたいと思っています。

最後に、保健所業務等の支援についても、引き続き取り組んでいただきたいと思っています。

いまだ感染の拡大局面で、ピークの見えない状況ですので、引き続き緊張感を持って取り組んでいただきますよう、よろしくお願いします。

【危機管理監】

関係の部局長におかれては、指示事項を踏まえ、万全の取り組みをお願いします。

松井議長、三科危機管理監におかれては、お忙しいところ御出席をいただき、誠にありがとうございました。

以上をもって、対策本部会議を終了します。